

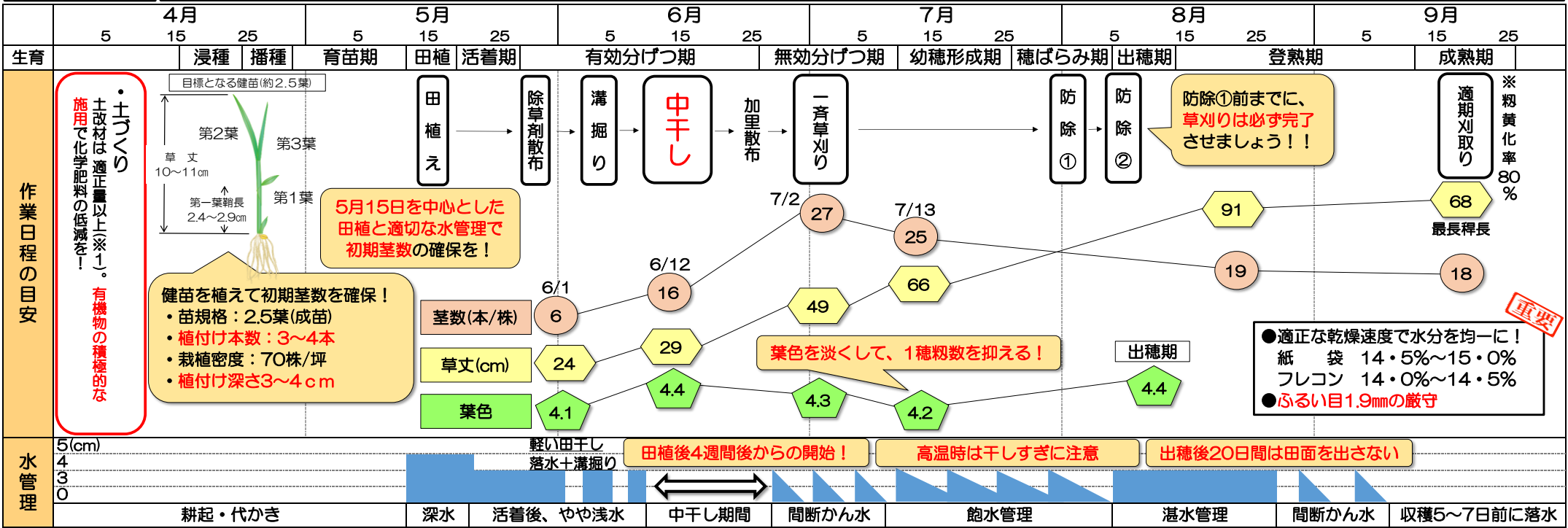
令和7年度

富富富栽培こよみ

みな穂農業協同組合
黒東地域農業技術者協議会

重点対策

- ① 土壌改良資材の継続的な施用 ② 初期茎数の確保 ③ 生育に合わせた水管理 ④ 適期防除



土づくり資材の施用基準 (10a当たり) ※1

土壌改良資材	珪酸石灰 160~200kg
	シリカパンチF 120kg
	アサヒニューテツ 160kg
有機質資材	グリーンウェイブ2 60kg
	発酵ケイフン 75kg (春施用基準量)
	牛ふん堆肥 1t (春施用基準量)

適正な基肥量の施用

一発肥料(側条施用)の場合
「富富富」専用肥料 30~32kg/10a程度 <コシヒカリ(38kg/10a)の2割減肥>

苗箱施肥(富富富専用)
●フェルテラ箱粒剤(1成分)
使用量：50g/箱(密苗：50~100g)
使用時期：播種時(覆土前)~田植当日
※側条施用登録なし
適用病害虫：コメイロ、イネノメイシ等

●アレスモンガレス箱粒剤(2成分)
使用量：50g/箱(密苗：50~100g)
使用時期：播種時(覆土前)~田植当日
適用病害虫：紋枯病、コメイロ、イネノメイシ等
※紋枯病が見られる圃場での積極的な施用をオススメします。

除草剤の体系

●散布後5日間は湛水状態を保ち7日間は落水しない！
※散布前に軽い田干しを行うと、薬剤の拡散に効果的

田植からの日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
一発処理の場合→				ファイオリティ1和粒剤(2成分)															
体系処理の場合	かなつく1和粒剤(2成分)				ファイオリティ1和粒剤(2成分)															
密苗の場合	ピラクロン粒剤(1成分)				アグリスMX1和粒剤(3成分)															

●上記の除草体系でも残草がある場合

ノビエ・広葉	トドメバスマF液剤(2成分)	ロイヤント乳剤(1成分)	ハイスコープ1キロ粒剤(2成分)	バサグラン粒剤(1成分)	ノビエ専用	トドメMF1キロ粒剤(1成分)
--------	----------------	--------------	------------------	--------------	-------	-----------------

病虫害防除

基本防除
2回防除で病虫害シャットアウト！

1回目 走り穂 7月下旬
スタークル液剤10(1成分)
+
モンカットフロアブル(1成分)
(ウンカ類、紋枯病、カメムシ類)

2回目 穂揃期 8月上旬
ラプサイドK2フロアブル(2成分)
(いもち病、カメムシ類)

※病虫害雑草防除に使用する化学合成農薬の成分使用回数は、『合計12以内』です(種子消毒剤も成分使用回数に含む)

次年度に向けて

秋耕

- ① 稲ワラの腐熟促進
→ワラ・ヒコバエを腐植へ
→春先のワキ(ガス)の防止
- ② 春耕の効率化
→作土深の確保
- ③ 漏生稲の発生防止
- ④ 鳥・獣のエサを減らす

土づくり

牛ふん堆肥 1~2t
発酵ケイフン 150kg(秋施用)
(10a 当たり)